

まだまだいる軽度発達障害および被心的外傷

*あくまで私見です



Hイジ
広汎性発達障がい

空想好きでパターン化された遊びを好む。いやみを理解せず文字通り受け取るので、Oんじには純粹でけなげな子に映った。物語と現実の区別がつかず、Pーターの祖母が本当に死んだと思って泣いたことも。やさしさも広汎性の特徴の一つ。環境の変化に対応できず、町で夢遊病になった。



P-ター
軽度精神遅滞

H イジより6歳年上という設定(日本では小6~中1)である。人はいいのだが同年代より幼く口下手。このことは山羊飼の仕事で学習が遅れているせいだけではなく、軽度から境界域の精神遅滞が疑われる。単純すぎる彼を、おんじはからかいと親しみをこめて「山羊の大将」と呼んでいる。



Oんじ
境界例

典型的な境界例(境界性人格障害)で、自分と違う考えを認められない。自分と同じように努力しない者を許せず、その相手を責める、無視する。元兵士として村人から恐れられたことと、戦争体験(時代からして普仏戦争)によるトラウマが重なり、自ら人づきあいを嫌って山小屋暮らし始めた。



Rッテンマイヤー
ヒステリー症

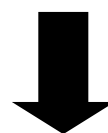
非常に興奮しやすくしかも冷めにくい。「ヒステリー=気の強さ」ではなく、他への依存心が強い人ほど、思い通りにならない時にいらいらする。不満を多く口にするのは、自信のない部分をゼーゼマンに支えてもらいたいため。年上の男性に依存する女性の多くは「父-娘」関係と重ねてしまうため、婚期を逃す傾向にある。



Kララ
エレクトラコンプレックス

男児が母親を愛するがゆえに父親と敵対するエディプスコンプレックスの女兒パターン。本来は母親に嫉妬するべきところだが、既に亡くなっているため、Z-ゼマン(父親)の関心を巡ってRッテンマイヤーとライバル関係となる。片足の麻痺は、富豪商人の父の多忙による愛情不足(ネグレクト)が原因。

大事なことは



それぞれの予後は人との関わりの中で幸せな結末へ

H イジは両親を早く亡くして、叔母に育てられていたが、5歳の時に、アルムの山に1人で住んでいる「アルム O んじ」の所に預けられ、その後はフランクフルトのお屋敷で暮らすこととなる。環境の変化に振り回されながらも、様々な人と関わって他人への心遣いを学んでいくが、さすがにフランクフルトの環境は苛酷であり、周囲の助言もあって最終的にはアルムに戻る。やはり開放的な環境の方がハイジの成長のペースに合うのだろう。今後も P-ターや O んじ、村人たちとの関わりの中で社会性を伸ばしていくと思われる。

P-ターは表現力に乏しいが、持ち前の人懐っこさから周囲の手助けを受けやすい。知らず知らずに生き方を学んでいるのだろう。O んじの技術提供で仕上げたそりが一等賞となって大喜びをする。すべて自力でつかった結果ではないが、当人が幸せと感ずることが何より大切である。

O んじは頑固者として周囲から疎まれていたが、H イジとの出会いによって村人と関わりを持つようになる。純粹すぎる女兒、それを見守り育てる祖父の姿が、次第に周囲の誤解を解き、O んじは意外に早く村人に受け入れられていく。O んじにとってハイジとの関わりや村人との関わりが、自身の疾患を治癒することとなった。

K ララにとってアルムでの生活のメリットは、自然環境ではなく人的なものであった。K ララの片足の麻痺は愛情不足による「自立の拒否」であり、心的なものが原因である。そうでなければ O んじの素人リハビリで直るはずがない。技術ではなく、O んじの献身的な行動と、H イジの厳しくも深い愛情「そんなクララ大嫌い！」が、K ララの「求めるだけの愛」を「応える愛」へと変化させた。そして彼女自身が最も愛情を求めた父親、その父親の目の前でついに自力歩行を果たす。山暮らしで病理を克服した K ララが、これまでの父親の愛に応えた瞬間である。その瞬間、関わったすべての人が飛び上がって喜び、子山羊のユキまでもが小躍りした。

K ララが自力歩行を始めることは、R ッテマイヤーにとっては失職の危機であり、それは Z-ゼマンという依存対象を失うことでもある。目の前で K ララが歩くのを見た Z-ゼマンは、娘に良く似た妻を思い浮かべて K ララを抱きしめる。そこにもはや R ッテンマイヤーの入り込むすきはない。しかし長い目で見れば、彼女の人生にとってもこれは必要なプロセスなのだろう。今後は持ち前の多才な能力を学術面で生かすことで幸せな未来が約束される。

それぞれの持つ障がいや精神疾患が、全てマイナスに作用するわけではない。それぞれの特性に適した療育・治療、そして周囲の関わり方の工夫によって、彼らは健全な社会生活を営めるようになる。そのことは、当人はもちろん周囲にとっても幸せなことである。彼らへの偏見や誤解こそが、大いなるマイナスなのだ。

